

鈴木 誠 (無所属・28歳・男)

プロフィール

1982年5月 山形県東置賜郡耶川町に生まれる。
 1989年3月 稲城市平尾はなぶさ幼稚園卒園
 2005年3月 法政大学経済学部卒業
 2005年4月 ㈱リアルメディアコミュニケーションズ入社
 FromA、タウンワークの多摩地区担当営業を経験後、住宅情報タウンズ(現SUUMO)制作リーダーとして実務に励む。大阪へ単身赴任経験有り。

- ◎おし座・O型・177cm/78kg・右利き
- ◎好きな人物:土方歳三、上杉鷹山
- ◎趣味:郷土史研究(稲城市内全域)・バドミントン・登山・家庭菜園・男の手料理
- ◎家族:両親、妻と娘(2歳)の計5人+犬1匹の生活。今年7月に第二子が誕生予定。
- ◎住宅ローン:残り30年余り...
- ◎バドミントン戦績(市内における主な結果):
 第26回(1997年)稲城市民大会3位(男子S3部)、
 第42回(2010年)稲城市民大会準優勝(男子D1部)

これまでの役職・資格等

- ・日本防災士機構 認定防災士
- ・日本赤十字社 救急法救急員
- ・稲城市消防団第六分団 分団員
- ・平尾宅分自主防災組織本部委員
- ・稲城市学校体育館個人開放管理指導員(第四小・平尾小)
- ・稲城市体育協会 バドミントン連盟員/強化選手
- ・平尾宅地分譲自治会役員/事務局長



いなぎ歴史探検家として、市内各地域の歴史を研究。
 ホームページ⇒ <http://inagi.info> 『いなぎ歴史探検』

稲成起風



2011年3月23日
 発行:稲成会
 VOL.2
 稲成会
 討論資料

稲成会を通じて市政に参画しませんか?

鈴木誠と共に市政を考える『稲成会』では、年齢・性別・住所・支持党派・宗旨など一切問わず、市内外から幅広く会員を募集しております。

年会費や活動義務はございません。

会員登録いただいた方には、会報「稲成起風」やイベントの御案内を届けさせていただきます。また、入会の有無に関わらず、まだまだ成長途上の鈴木誠へ叱咤激励・御意見等を随時受け付けております。

『稲成会』入会申込欄

お名前

ご住所

TEL/FAX

Eメール

御記入いただき、誠にありがとうございます。
 お手数ですが、FAXまたはEメール(上記内容を入力)にて送付いただきますようお願い申し上げます。

FAX送信先 : 042-207-0120

メール送信先 : inari-kai@inagi.info

※いただいた情報は、他の目的に使用されないよう厳重に管理します。



<http://inagi.info/inari>

「政治家・政党のための政治」は要らない。
 安心安全、後世に誇れる故郷・稲城を創りたい。
 無縁社会を有縁社会に。身命を惜しまぬ覚悟で、市政に挑戦!

稲城を想い、
 漲る力。

みなぎ



01

「防災を多く学び実践し続けてきた立場、障害を持つ老親を抱える立場から」

子供から高齢者まで、安心安全に日々を暮らせることが自治体が担う最大の責務です。
市域における防災(減災)・防犯・緊急医療体制の強化、高齢者の安全確保を推進します！

大規模災害時には各自治体の防災力が試されます。現時点で稲城市には消防署が1カ所のみ、警察署はありません。
防災は長期に渡る「減災計画」が肝、今回の東北関東大震災を受けてから防災を口にするような政治ではいけません！

- ① 1分1秒でも早く救急車・消防車が到着し、被害を最小限で食い止めるように、稲城市消防の増強を全力で推進します。
- ② 稲城市のみでは防災対応力に限界があります。近隣の東京消防庁・川崎市消防局と連携強化を推進します。
- ③ 耐震補強、高齢者・障害を抱える方向けの抜本的な防災対策をバリアフリーの街づくりと併せて整備します。
- ④ かかりつけの町医者から、市立病院、より高度な医療機関へ、緊急時にスムーズな治療・入院が可能な体制を整備します。
- ⑤ 多摩中央警察署の体制強化、神奈川県警との強固な協力体制構築、市内への警察署・大型交番誘致を推進します。

02

「稲城市政の現状に憤りを感じる、無党派市民の視点で」

市民代表の場であるはずの議会が、政治家のため、政党のために運営されては本末転倒です。
議員定数削減、議員一人一人が稲城市民の代表として明朗快活な政治をするよう目指します！

3月14日午前、市役所4F。「稲城市議会議員 定数削減の陳情」が賛成2、反対4で不採択となる瞬間を目撃しました。
また、市長に対して5期20年に渡る長期政権を批判する声を議員側から聞く反面、言っている議員側を見てみると5期以上の長期に渡って平然と同じ議席に座り続ける方もいるという「ちぐはぐな状態」が稲城市政の実情です。

- ① 財政改善の観点だけでなく、市民の代表である議員一人一人がより強い自覚を持つためにも議員定数削減を目指します。
- ② 市長・議員全員に対して任期数制限の条例をつくり、市政の倦怠化を防ぐことを目指します。
- ③ 議決結果の○×報告だけでなく、各議員や政党・会派が、どうしてその判断に至ったか、反対の場合は代替案等を発表することを義務化し、定期報告すら行わないような怠慢議員がいない活発な市政運営を目指します。
- ④ 議員は市民運動を政治利用するようではいけません。あくまでも市民全体の想いを尊重した活動を心がけるよう働きかけます。

03

「いま「稲城っ子」を育てる父親、郷土史研究者の端くれとしての目線で」

次世代に『誇りある故郷・稲城』を受け継ぎたい、地元愛溢れる人間に育てて欲しい。
稲城で育った子供が、そのまた子供を稲城で育てる「世代循環型の街づくり」を！

多摩市をはじめとする近隣他市に見られるよう、急速な開発・発展は急速な衰退も招きます。当市内「平尾地区」ではすでに当問題が発生し始めており、向陽台・長峰・若葉台までもが同じ轍を踏むわけにはいきません！
次の世代が、また子育てしたいと思える故郷・稲城をつくるのが現代を生きる私達の使命です。

- ① 子育てで重要なのは「教育」だと考え、稲城市立の全小中学校における教育環境向上を目指します。
- ② 全世代を対象に生涯学習・スポーツ文化活動を奨励し、稲城市の総合的文化レベル向上を目指します。
- ③ 上谷戸をモデルにした緑地保全計画、ふれんど平尾閉鎖で、手狭な部屋に押し込まれた郷土資料室の拡張、将来的には次世代に「誇りある稲城」を伝え残す郷土資料館の設置検討を目指します。

以上を実現するためには、もちろん費用も必要です。税収増加を図るため、地元企業・産業の活性化や法人誘致、稲城の特色である緑地を重視した『誰もが住みたい街づくり』を推進します。
税収増加と同時に支出減少を図り、議員定数削減や一部行政機能の民間移譲、ボランティア団体や各種サークルなどを中心とした市民団体と行政との官民連携強化を実現させます。

字だらけですみません！左記は目標のほんの一部です。稲城の将来のためにやるべきこと、目指すべき方向があります。ホームページもご覧いただき、ご意見をいただくと幸いです。



<http://inagi.info/inari>

携帯からのアクセスはこちら

<http://inagi.info/inari-i>



市内各所の勉強。
ご意見集めの為に
駆け回っています！
もし見かけましたら
気軽にお声がけ下さい。



鈴木誠